

平成26年2月期経営状況概要

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
8. 水道事業収益	2,339,120	197,450	2,109,252	90.2%	229,868		
1. 営業収益	2,274,380	194,542	2,077,080	91.3%	197,300		
1. 給水収益	2,248,200	175,485	2,050,344	91.2%	197,856		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	26,180	19,057	26,736	102.1%	△ 556		
2. 営業外収益	51,120	2,908	28,037	54.8%	23,083		
3. 特別利益	13,620	0	4,135	30.4%	9,485		
9. 水道事業費用	2,188,964	115,448	900,001	41.1%	1,288,963	976,072	44.6%
1. 営業費用	1,813,971	55,500	686,991	37.9%	1,126,980	762,848	42.1%
1. 原水及び浄水費	357,499	23,886	252,497	70.6%	105,002	281,254	78.7%
2. 配水費	207,928	7,144	162,797	78.3%	45,131	176,776	85.0%
3. 給水費	79,362	6,168	68,883	86.8%	10,479	71,453	90.0%
4. 受託工事費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
5. 業務費	116,239	9,044	95,985	82.6%	20,254	113,332	97.5%
6. 総係費	141,510	6,667	104,238	73.7%	37,272	110,808	78.3%
7. 減価償却費	888,068	0	0	0.0%	888,068	0	0.0%
8. 資産減耗費	23,365	2,592	2,592	11.1%	20,773	9,225	39.5%
9. その他営業費用	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 営業外費用	329,420	59,878	192,909	58.6%	136,511	192,909	58.6%
3. 特別損失	25,573	69	20,101	78.6%	5,472	20,315	79.4%
4. 予備費	20,000	0	0		20,000	0	
10. 資本的収入	1,312,200	6,162	512,973	39.1%	799,227		
1. 企業債	538,600	0	25,000	4.6%	513,600		
2. 負担金・補償金	495,703	4,545	448,727	90.5%	46,976		
3. 補助金	106,239	0	0		106,239		
4. 出資金	164,676	0	21,007	12.8%	143,669		
5. 加入金	6,982	1,617	18,239	261.2%	△ 11,257		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
11. 資本的支出	2,483,957	243,692	1,291,512	52.0%	1,192,445	1,961,141	79.0%
1. 建設改良費	1,864,856	112,782	839,082	45.0%	1,025,774	1,508,711	80.9%
1. 取水施設整備費	124,920	0	13,202	10.6%	111,718	119,866	96.0%
2. 浄水施設整備費	166,325	37,800	45,775	27.5%	120,550	107,210	64.5%
3. 配給水施設整備費	1,268,753	71,642	511,456	40.3%	757,297	991,262	78.1%
6. 管理施設整備費	3,150	0	2,235	70.9%	915	2,235	70.9%
7. 消防設備整備費	1,870	0	0	0.0%	1,870	1,271	67.9%
8. 災害復旧費	299,838	3,340	266,414	88.9%	33,424	286,868	95.7%
2. 企業債償還金	619,101	130,910	452,430	73.1%	166,671	452,430	73.1%
12. たな卸し資産購入限度額	40,186	0	24,059	59.9%	16,127	34,037	84.7%
①有収水量	8,313,700	643,305	7,494,212	90.1%	819,488		
②供給単価	270.42	272.79	273.59	101.2%	△ 3.17		
③給水原価	258.40	179.35	117.41	45.4%	140.99		
人件費	254,246	42,877	236,715	93.1%	17,531		
1. 収益的収支	217,184	36,442	201,727	92.9%	15,457		
1. 職員給与費	216,318	36,442	201,554	93.2%	14,764		
2. 特別職（報酬、賃金等）	866	0	173	20.0%	693		
2. 資本的収支	37,062	6,435	34,988	94.4%	2,074		
* 職員給与費	253,380	42,877	236,542	93.4%	16,838		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.6%	20.8%	9.8%				
2. 全職員	11.3%	24.4%	11.5%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	38,515,396	39,311,403	796,007	
*減価償却累計額	15,399,585	15,397,010	△ 2,575	23,914,394
B. 流動資産	2,400,403	2,785,947	385,544	
1. 現金預金	1,635,302	1,936,679	301,377	
2. 未収金	536,132	462,721	△ 73,410	
3. その他	228,970	386,547	157,577	貯蔵品・前払い金等
C. 繰延勘定	0	0	0	
D. 水道事業費用	0	875,010	875,010	
1. 営業費用	0	662,958	662,958	
2. 営業外費用	0	192,909	192,909	
3. 特別損失	0	19,144	19,144	
1. 借方合計	40,915,800	42,972,361	2,056,561	=A+B+C+D
E. 固定負債	50,000	0	△ 50,000	・修繕引当金
F. 流動負債	581,379	582,414	1,034	
2. 未払金	251,213	215,259	△ 35,954	
8. 資本的収入整理勘定	326,164	250,583	△ 75,581	3. 未払消費税4. 前受金含む
9. その他流動負債	4,002	116,572	112,570	
①下水道預り金	0	8,645	8,645	
②水道料金預り金	13	32	19	
③その他	3,989	107,894	103,905	・仮受消費税他
G. 資本金	16,414,497	16,181,790	△ 232,707	
1. 自己資本金	5,222,669	5,417,392	194,723	・固有、繰入（出資）、組入
2. 借入資本金	11,191,828	10,764,398	△ 427,430	=企業債元金
H. 剰余金	8,470,338	8,800,821	330,483	
1. 資本剰余金	8,154,684	8,485,167	330,483	・補助金、負担金、補償金、加入金等
2. 利益剰余金	315,655	315,655	0	・H24利益
K. 水道事業収益	0	2,010,326	2,010,326	
1. 営業収益	0	1,979,442	1,979,442	
2. 営業外収益	0	26,825	26,825	
3. 特別利益	0	4,059	4,059	
2. 貸方合計	40,915,800	42,972,361	2,056,561	=E+F+G+H+K+減価償却累計額
a. 供給単価（円、銭）	260.56	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価（円、銭）		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	114.20	=原価算入額÷有収水量		
②シミュレーション	263.09	原価算入額に資本費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	74.78%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	81.76%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	478.35%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	332.53%	=現金預金÷流動負債		

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成26年 2月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	29,955	332,185	330,100	329,772	2,085	2,413
2 調定水量	m ³	630,190	7,444,600	7,588,700	7,593,958	△ 144,100	△ 149,358
3 調定料金	円	175,484,785	2,050,344,270	2,064,300,000	2,071,557,590	△ 13,955,730	△ 21,213,320
4 口振加入件数	件	25,237	279,881	-	279,788	-	93

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	83,723	-	84,608	△ 885
6 給水件数	件	29,877	-	29,712	165
7 開栓処理件数	件	127	2,372	2,224	148
8 閉栓処理件数	件	137	2,367	2,128	239
9 給水工事設計審査	件	59	853	904	△ 51
10 給水工事竣工検査	件	78	904	982	△ 78
11 経年メーター交換	件	416	4,376	4,422	△ 46
12 メーター口径変更	件	7	91	127	△ 36
13 月末停止件数	件	11	119	118	1

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	188,178,895 円	90.82 %	187,859,629 円	90.93 %
15 過年度分	4,397,504 円	97.71 %	6,357,285 円	96.73 %
16 全体(計)	192,576,399 円	-	194,216,914 円	-

4 給水装置工事指定業者(変更なし)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	6	16	12	13	9	8	14	5	102	112	214

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	126/138	0/0	58/68	0/0	28/29	0/0
契約締結	一般	19	0	19	0	0
	指名	81	0	36	0	26
	随契	26	0	3	0	2
	合計	126	0	58	0	28

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計12件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	39	8	
中間検査	9	0	
合計	48	8	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
市債権回収対策委員会	7日	債権回収事務打合せ会
第11回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	12日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
第11回安全衛生委員会	12日	行事計画及び日程調整
平成26年第1回議会定例会	14日	補正予算、当初予算(会期3月17日)
第9回事業調整会議	17日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
定期監査	18日	25年度事業所監査
給水拠点設置訓練	20日	東和総合支所
第11回経営分析会議	21日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
水道ブースター会議	26日	事業検討
例月出納検査	26日	月例監査
情報公開請求	-日	開示請求件数2件/14件、開示文書1件/54件
緊急メールの発出	-日	漏水17、破損4、水質情報1 計22回

特記事項

1. 2月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益は175,485千円で、1月期に比べて3,016千円の減、対前年同月比では538千円の減となっています。累計では2,050,344千円で、予算額に対し13,956千円の減、予算執行率は92.1%、昨年同期の累計額に対し、21,213千円の減となっています。

当期の営業費用は55,500千円で、1月期に比べ9,125千円の減、対前年同月比では1,794千円の減、累計では699,806千円で、昨年同期より4,062千円の減、予算執行率は38.5%となっています。水道メーター除却費に2,592千円、営業外費用として企業債償還金利子に59,878千円を執行しました。

②資本的収支

当期の収入は、補償金5,943千円、水道加入金1,617千円で、加入金累計額は18,239千円となっています。支出は、浄水場天日乾燥床工事請負費に18,000千円、配水管布設事業工事請負費に25,851千円、配水管布設替事業工事請負費に9,524千円、緊急時用連絡管事業工事請負費に31,322千円、繰越分では、災害復旧工事費に3,340千円、企業債元金償還金として130,910千円、総額243,692千円を執行しました。

③たな卸し資産購入限度額

当期の執行はなし。

2. 今月の出来事

(1) 第1回議会定例会が開会

平成26年第1回議会定例会が2月14日に開会しました。水道事業では、2件の一般質問と平成25年度水道事業会計補正予算(第3号)、平成26年度水道事業会計当初予算の2議案を提出しました。

一般質問

◎新田配水池の設置について(相澤吉悦議員)

漏水防止と有収率向上のため配水ブロック化事業を推進していること、併せて迫川西部地域の断水、給水制限被害の解消のため新田館林地内に築造する4,000m³の配水池の整備計画と建設場所の決定に至った経過を説明しました。

◎指定廃棄物最終処分場候補地に栗原市が選ばれ、迫川を水源としている市の対応について(浅田 修議員)

今後、県内3ヶ所の候補地では、地質、地盤調査等の詳細調査が行われることになっており、現時点では詳細調査の推移を見守っていくことを説明しました。

予算関係

◎平成25年度水道事業会計補正予算(第3号)及び平成26年度水道事業会計当初予算を提案

25年度補正予算(第3号)については、3条関係の収入で、給水収益21,000千円の減額、支出では資産管理業務委託料3,945千円の増額、4条関係の収入で、配水管布設負担金21,000千円、加入金12,212千円の増額、企業債11,000千円の減額、支出では浄水施設整備事業で40,000千円、配水管整備事業で63,000千円の減額の補正予算を提案し、3月7日に議案審議が行われます。平成26年度当初予算につきましては、予算審査特別委員会が3月12日から開かれ、審議されます。

(3) 管路の耐震化検討会に参加

第2回管路の耐震化に関する検討会が2月5日に厚生労働省で開催され、事業所より佐藤次長が委員として参加しました。検討会では、平成18年度に示されている管種、継手等の耐震基準について見直しを行っており、東日本大震災の経験をもとに被災事業体の管路情報や被害情報のヒヤリングを行い、そのデータを活用して各管種等の被害率を求め、検討を進めております。今年度中に新たな指針を示すべく、3月20日に第3回検討会が開催されます。

(2) 2月期災害訓練

2月期の災害訓練を2月26日に開催しました。今月は水道ブースターの皆さんにも参加いただき、震度6弱の地震が発生した想定で、災害時の初動体制について、災対本部各班の役割や任務について再確認をしました。



(4) 職員の退職

平成26年2月28日付けで水道施設課施設維持係佐々木正敏主査が退職しました。佐々木主査は平成7年4月1日に登米地方水道企業団に奉職以来、水道事業に貢献されました。

平成26年 2月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	791,516	9,552,268	9,434,070	9,810,589	118,198	-258,321
総配水量	755,167	9,165,934	9,166,960	9,474,159	-1,026	-308,225
1 有効水量	705,684	8,225,014	8,222,870	8,268,769	2,144	-43,755
(1)有収水量	634,426	7,494,212	7,634,900	7,641,256	-140,688	-147,044
(2)無収水量	71,258	730,802	587,970	627,513	142,832	103,289
2 無効水量	49,483	940,920	944,090	1,205,390	-3,170	-264,470
(1)漏水量	48,215	935,742	926,000	1,193,740	9,742	-257,998
(2)その他無効水量	1,268	5,178	18,090	11,650	-12,912	-6,472
3 有収率	84.01	81.76	83.29	80.65	-1.53	1.11

※当月期の最大配水量は、1日(水)に記録した【29, 259m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	7	124,920	4	106,663	3	13,202	5,055	95%
イ 浄水施設整備事業	13	166,325	5	61,436	6	45,775	59,114	64%
ウ 配給水施設整備事業	88	894,491	29	434,168	46	206,219	254,104	71%
エ 繰越事業	24	674,100	3	66,092	20	571,652	36,356	94%

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 4)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.54	0.40	0.39	0.54	0.32
最低	0.48	0.25	0.21	0.35	0.24
最高	0.61	0.59	0.53	0.67	0.37

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H26.1.25	<0.70	<0.60	錦織水系浄水場	H26.1.25	<0.60	<0.60
石越浄水場	H26.1.24	<0.60	<0.70	米谷水系浄水場	H26.1.25	<0.60	<0.70
大萱沢浄水場	H26.1.25	<0.60	<0.50	楼台浄水場	H26.1.25	<0.50	<0.70
米川水系浄水場	H26.1.25	<0.70	<0.90	—	—	—	—

特 記 事 項

1 米川水系浄水場から米川配水池へ至る送水管の漏水事故

3日午前6時20分頃、市民より米川水系浄水場に隣接するマンホールから多量(推定漏水量: 1m³/h)の水が噴き出しているとの通報がありました。管工事組合で現地確認をした結果、配水池に送水しているφ125mmの鋼管からの漏水と断定し、迅速に修理を進め、予定した午後5時までに完全復旧しました。

漏水管は米川配水池への送水管で修理に時間を要すると貯水容量(459m³)が減少し、米川地区の広い範囲で断水が想定されることから、迅速な対応が必要と判断されたものであります。また、浄水場等運転管理受託者と連携をとりながら適切に配水量の状況を判断して、予測断水到達時間を午後8時と予想したことにより、予定修理完了目標を午後5時としたものです。

漏水状況



SGPφ125漏水状況



2 寒さで大萱沢浄水場の配水ポンプが一時停止

連日続く寒さの影響から大萱沢浄水場に設置している配水ポンプの配管が2月14日に凍結、ポンプが一時停止しました。(本件に伴う断水等の影響は出ませんでした)

今月の中旬から中旬に掛けて寒さが連続的に続いたのが原因ではないかと思っています。

対処としては、露出部の配管をテープヒーターにて防寒しました。(通常防寒対策は、他の設備と合せ部屋全体をパネルヒーターで暖めています)

さらに、錦織水系浄水場水位計も同様に凍結したことで水位計ボックス内に防寒材等による対策を同時に実施しました。

ヒーター取付箇所



3 浄水場運転管理等業務に伴う主な作業紹介

- 11日: 大萱沢浄水場ろ過砂掻き取り作業実施
 - * 本作業は、緩速ろ過の代名詞でもあるろ過池をろ過面の状況に応じて砂の掻き取り作業を実施しているもので、今回は2号池を実施しました。(目的はろ過面の生物膜閉塞を回復させるため)
- 26日~28日: 保呂羽浄水場及び石越浄水場電気設備年次点検実施
 - * 本点検は、電気事業法で定められている保守点検であります。内容は、高圧受電設備内部に異常が発生した場合に電気の遮断器が正常に稼働するかなど電気火災事故や波及事故防止機器の点検を行ったもので、受電を停止し行う作業となります。

4 平成25年度漏水対策の実施について

2月末現在の漏水調査の結果は累計で、(配水管45箇所、空気弁3箇所、給水管43箇所、止水栓4箇所)95件の漏水を発見しております。

5 地震発生状況

震度4以上の地震発生ありませんでした。